

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、令和7年3月末現在で95.2%（総人口5,093千人に対して給水人口4,850千人）となっており、未給水人口は242千人となっています。

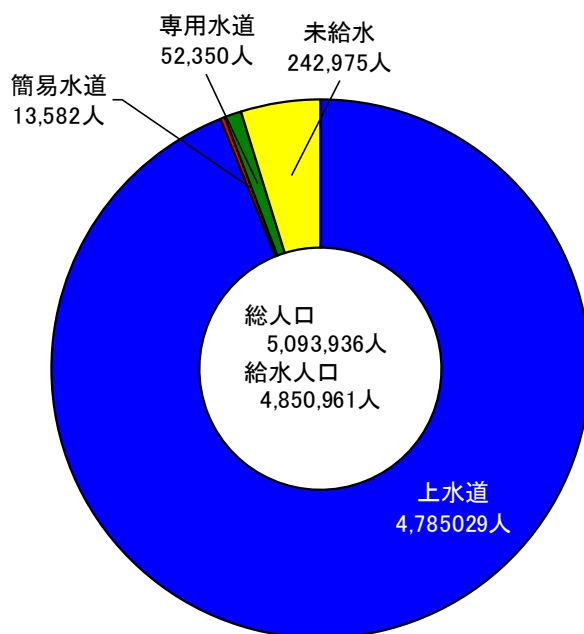
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と筑豊地区がいずれも96.8%と最も高く、次いで北九州地区が96.6%、筑後地区が87.6%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,785千人（98.7%）と大部分を占めており、次いで専用水道が52千人（1.1%）、簡易水道が13千人（0.3%）となっています。

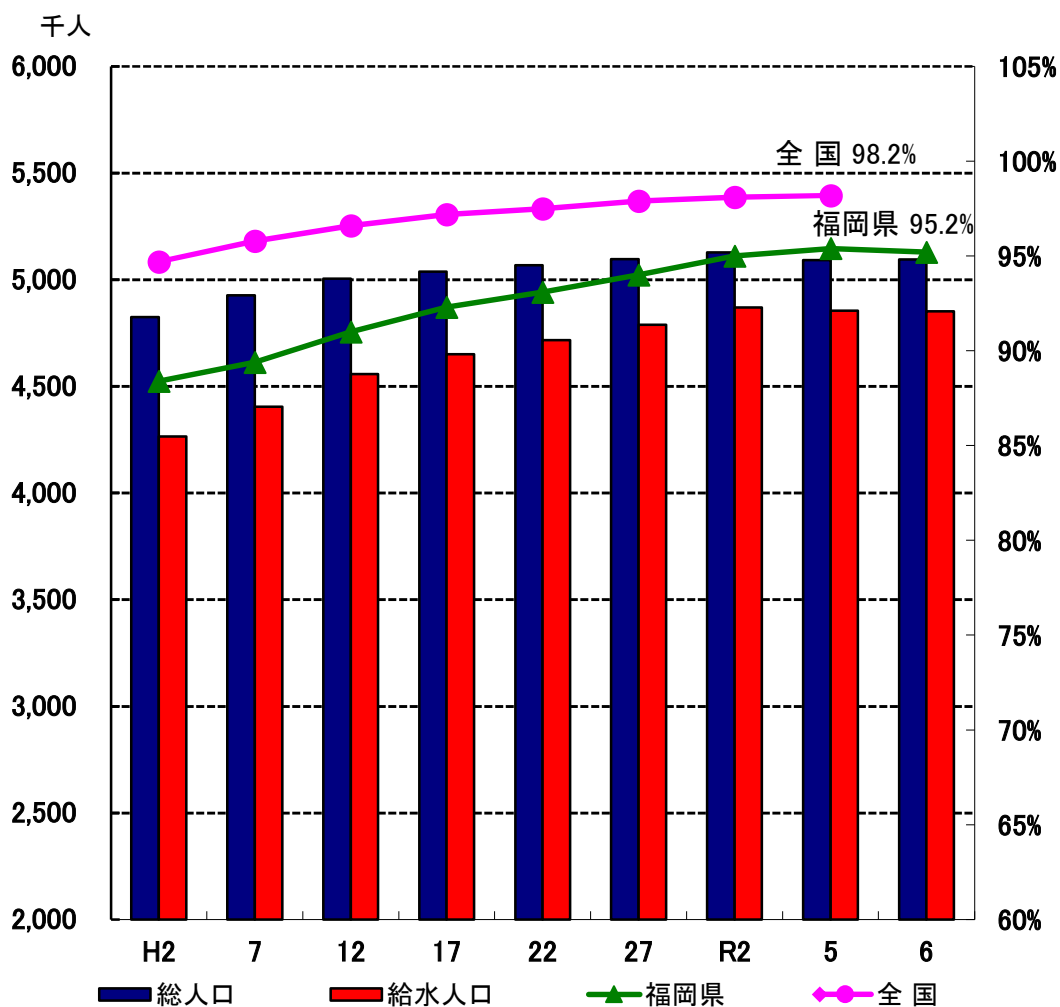
◎ 現在給水人口と普及率（令和7年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口(人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,658,158	2,573,520	2,551,615	1,208	20,697	96.8%
北九州	1,208,554	1,167,819	1,159,200	4,109	4,510	96.6%
筑後	850,313	744,936	719,674	2,470	22,792	87.6%
筑豊	376,911	364,686	354,540	5,795	4,351	96.8%
県計	5,093,936	4,850,961	4,785,029	13,582	52,350	95.2%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	H2	7	12	17	22	27	R2	5	6	
本県の総人口 (千人)	4,825	4,926	5,005	5,037	5,067	5,096	5,128	5,091	5,094	
本県の給水人口 (千人)	4,265	4,404	4,557	4,650	4,716	4,789	4,870	4,855	4,851	
普及率	福岡県	88.4%	89.4%	91%	92.3%	93.1%	94%	95%	95.4%	95.2%
	全国	94.7%	95.8%	96.6%	97.2%	97.5%	97.9%	98.1%	98.2%	未公表

※ 本資料作成時点で、全国の令和6年度値は未公表

2 給水の状況

(1) 年間給水量

令和6年度の年間給水量は 491,692 千 m³ となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.7%)。

なお、年間給水量は前年度から 2,969 千 m³ 増加しています。

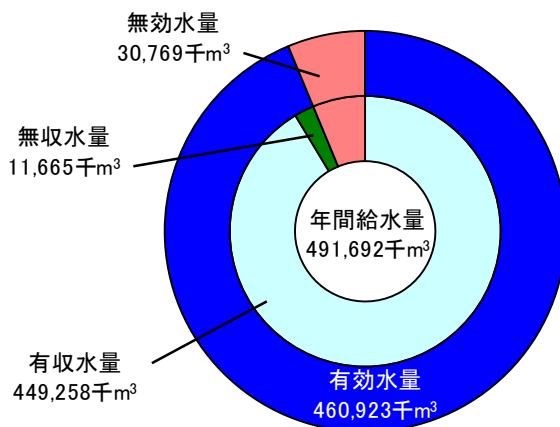
また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率は)は 93.7%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位:千m³)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	240,963	232,971	229,076	3,895	7,992	96.7%	95.1%
	北九州	129,428	119,648	116,216	3,432	9,780	92.4%	89.8%
	筑後	73,519	69,118	66,119	2,999	4,401	94.0%	89.9%
	筑豊	46,187	37,972	36,663	1,309	8,215	82.2%	79.4%
	計	490,097	459,709	448,074	11,635	30,388	93.8%	91.4%
簡易水道	福岡	139	118	116	2	21	84.9%	83.5%
	北九州	272	253	248	5	19	93.0%	91.2%
	筑後	443	283	268	15	160	63.9%	60.5%
	筑豊	741	560	552	8	181	75.6%	74.5%
	計	1,595	1,214	1,184	30	381	76.1%	74.2%
合計		491,692	460,923	449,258	11,665	30,769	93.7%	91.4%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない。



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量 (有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量 (有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 料金徴収の対象となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量 (管洗浄用水、メータ不感水量等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量 (配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 356,622 千 m³、業務・営業用が 68,873 千 m³、工場用が 10,908 千 m³、その他が 10,458 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	188,555	39,523	569	429	229,076
北九州	93,111	18,523	3,903	679	116,216
筑後	52,381	7,498	4,605	422	64,906
筑豊	22,575	3,329	1,831	8,928	36,663
計	356,622	68,873	10,908	10,458	446,861
構成比率	79.8%	15.4%	2.4%	2.3%	100.0%

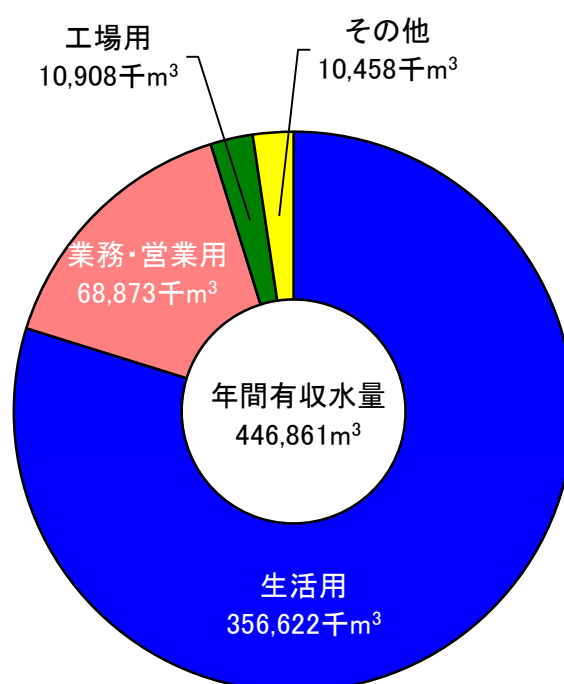
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署用、学校用、病院用、事務所用、営業用、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：上記用途以外のもの



(3) 平均給水量、最大給水量

令和6年度における一日平均給水量は 1,347 千 m³、一日最大給水量は 1,529 千 m³と なっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 281 リットル、最大給水量が 319 リットルとなっ ています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区 分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (リットル)	日最大 (m ³)	一人一日 (リットル)
福岡	上水道	660,173	259	723,320	283
	簡易水道	380	314	582	482
	計	660,552	259	723,902	284
北九州	上水道	354,597	306	397,001	342
	簡易水道	744	181	871	212
	計	355,341	305	397,872	342
筑後	上水道	201,422	280	229,081	318
	簡易水道	1,215	492	1,629	660
	計	202,637	281	230,710	319
筑豊	上水道	126,540	357	173,584	490
	簡易水道	2,031	351	3,094	534
	計	128,571	357	176,678	490
県 計	上水道	1,342,732	281	1,522,986	319
	簡易水道	4,370	322	6,176	455
	計	1,347,102	281	1,529,162	319
全 国	上水道	-	327	-	364

※全国は、令和6年度値が未公表のため、前年度(令和5年度)値を掲載

○ 平均給水量

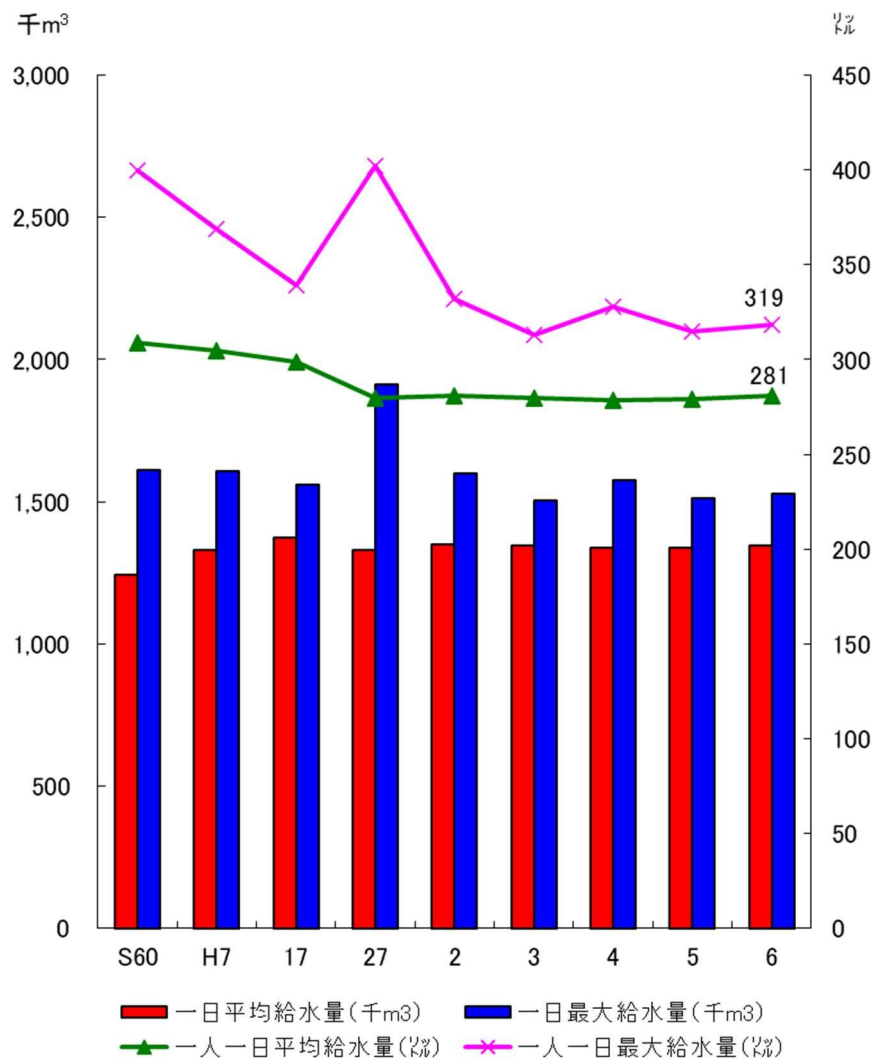
- ・ 日 平 均 : 年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一 人 一 日 : 日平均給水量 ÷ 給水人口

○ 最大給水量

- ・ 日 最 大 : 水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一 人 一 日 : 日最大給水量 ÷ 給水人口

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



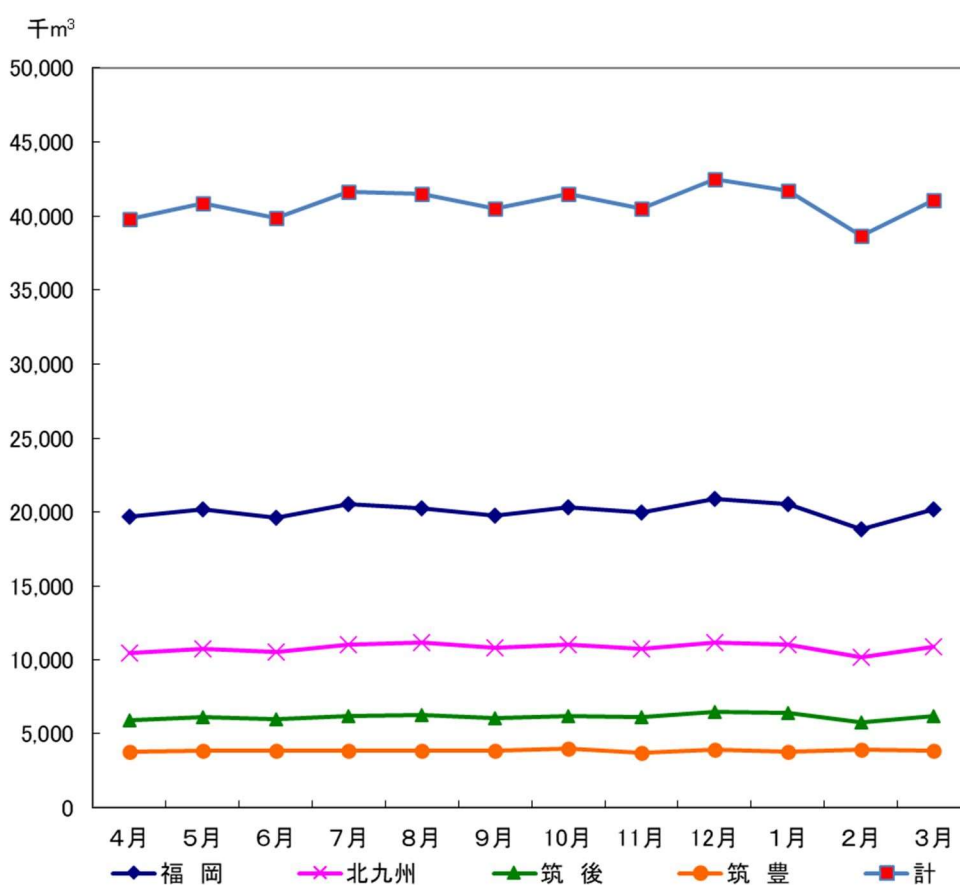
区分 \ 年度	S60	H7	17	27	2	3	4	5	6
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,331	1,352	1,347	1,339	1,339	1,347
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,912	1,598	1,506	1,577	1,512	1,529
一人一日平均給水量(%)	309	305	299	280	281	280	279	279	281
一人一日最大給水量(%)	400	369	339	402	332	313	328	315	319

(4) 月別給水量

令和6年度の上水道事業における月別給水量の最大値は12月の42,481千m³であり、最小値は2月の38,692千m³となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は12月の20,919千m³、最小値は2月の18,867千m³、北九州地区の最大値は12月の11,148千m³、最小値は2月の10,173千m³、筑後地区の最大値は12月の6,477千m³、最小値は2月の5,755千m³、筑豊地区の最大値は10月の4,002千m³、最小値は11月の3,731千m³となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



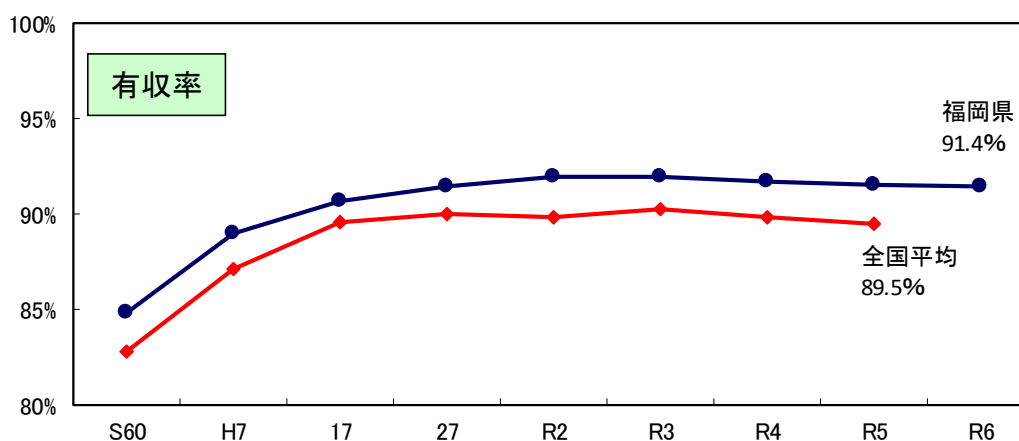
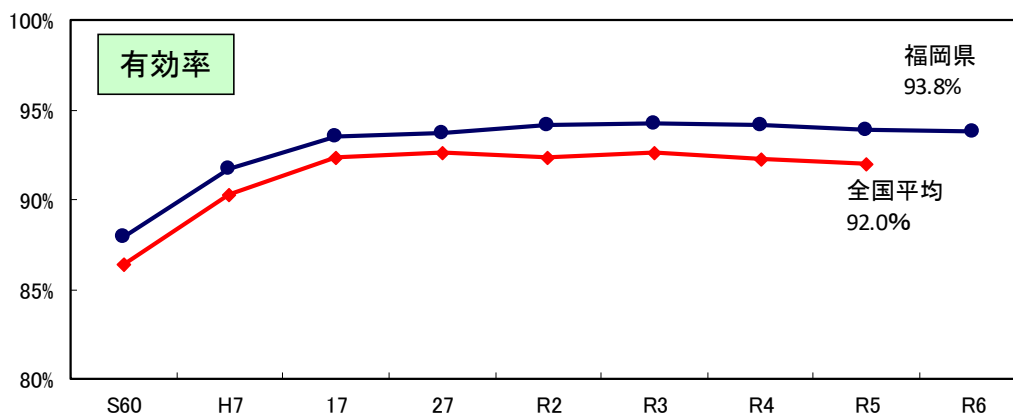
(単位: 千m³)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	19,670	20,165	19,612	20,572	20,288	19,805	20,339	19,978	20,919	20,520	18,867	20,228	240,963
北九州	10,440	10,735	10,508	10,981	11,118	10,791	11,000	10,696	11,148	11,016	10,173	10,822	129,428
筑後	5,899	6,110	5,956	6,206	6,238	6,052	6,165	6,096	6,477	6,389	5,755	6,176	73,519
筑豊	3,786	3,821	3,824	3,844	3,871	3,851	4,002	3,731	3,937	3,786	3,897	3,837	46,187
計	39,795	40,831	39,900	41,603	41,515	40,499	41,506	40,501	42,481	41,711	38,692	41,063	490,097

(5) 有効率、有収率

上水道事業における令和6年度の有効率は93.8%、有収率は91.4%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	27	R2	R3	R4	R5	R6
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	93.7%	94.2%	94.3%	94.2%	93.9%	93.8%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.6%	92.4%	92.6%	92.3%	92.0%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.4%	91.9%	91.9%	91.7%	91.5%	91.4%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	90.0%	89.8%	90.2%	89.8%	89.5%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

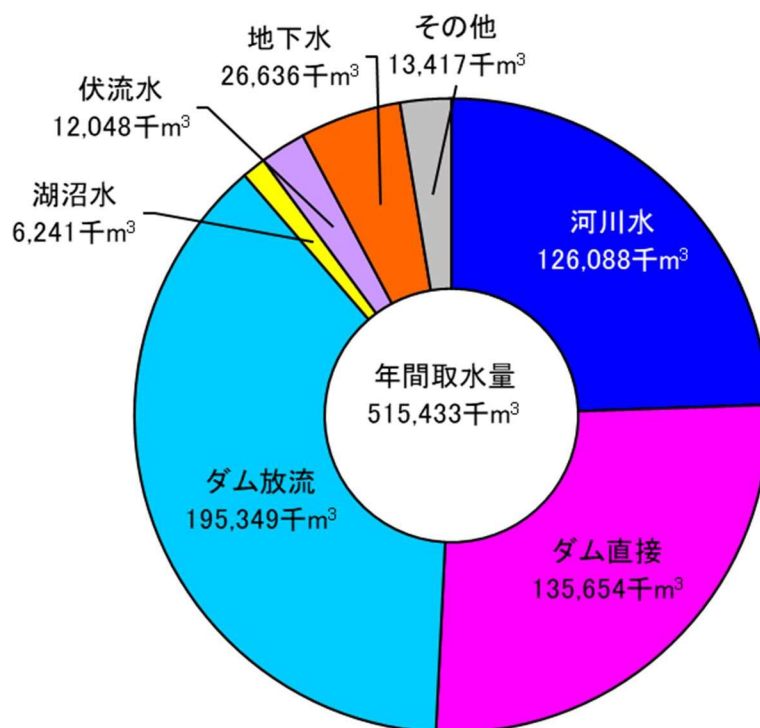
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の令和6年度の値は未公表

3 取水の状況

令和6年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて515,433千 m^3 で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(89.9%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千 m^3)

年度	S60	H7	17	27	2	3	4	5	6
河川水	116,791	163,039	129,617	111,554	132,932	130,636	142,193	137,757	126,088
ダム直接	131,761	113,409	109,365	137,185	129,651	121,218	107,018	119,775	135,654
ダム放流	134,891	120,667	165,716	172,500	183,607	186,128	189,340	181,128	195,349
湖沼水	5,537	7,981	9,327	6,599	7,070	7,289	6,452	6,475	6,241
伏流水	22,736	24,389	31,518	15,968	12,844	13,985	13,463	14,336	12,048
地下水	47,998	56,701	49,135	35,865	30,149	30,042	29,534	28,337	26,636
その他	1,003	1,429	24,138	15,476	14,702	17,153	15,319	20,409	13,417
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(14,809)	(14,074)	(16,531)	(14,684)	(19,908)	(12,866)
計	460,717	487,615	518,816	495,147	510,955	506,451	503,319	508,217	515,433

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

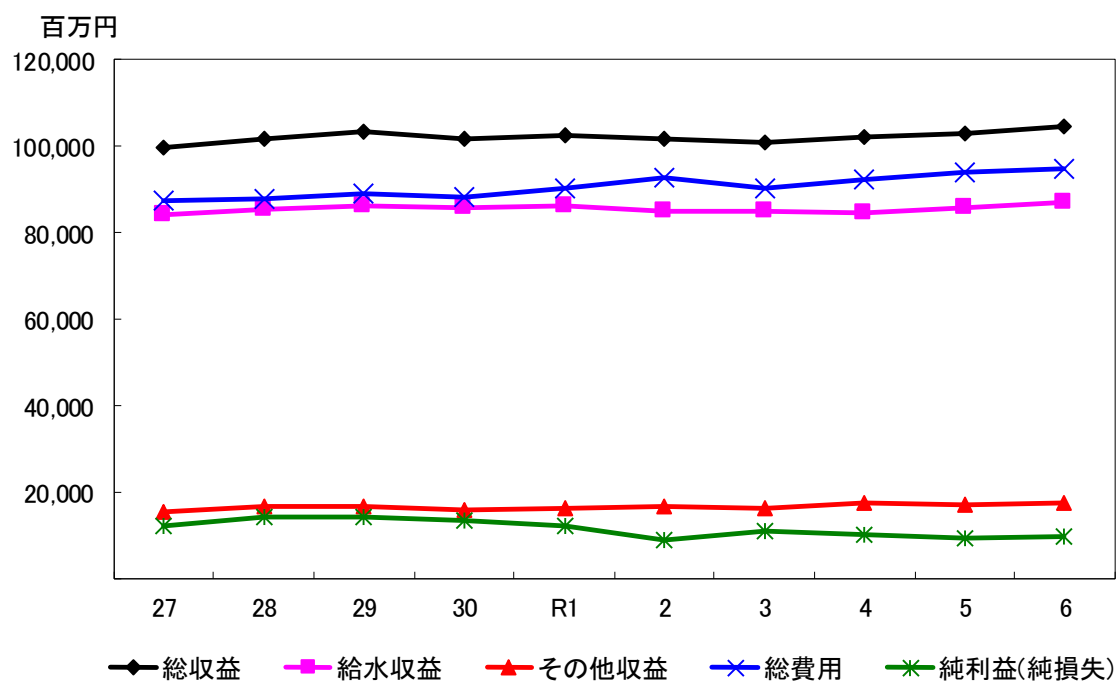
令和6年度における上水道事業の総収益は1,044億円となっており、前年度から15億円増加しています。また、総費用は948億円となっており、前年度から10億円増加しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は96億円となっており、前年度から5億円増加しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	総収益 (A)		総費用 (B)	純利益(純損失) (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
27	99,874	15,534	87,490	12,384
28	101,890	16,681	87,866	14,024
29	103,221	16,842	89,173	14,048
30	101,855	15,996	88,330	13,524
R1	102,511	16,359	90,259	12,252
2	101,575	16,785	92,656	8,920
3	101,065	16,241	90,267	10,797
4	102,252	17,636	92,176	10,076
5	102,938	17,255	93,782	9,157
6	104,431	17,465	94,800	9,631



(2) 費用構成

令和6年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費が約半分を占めています。

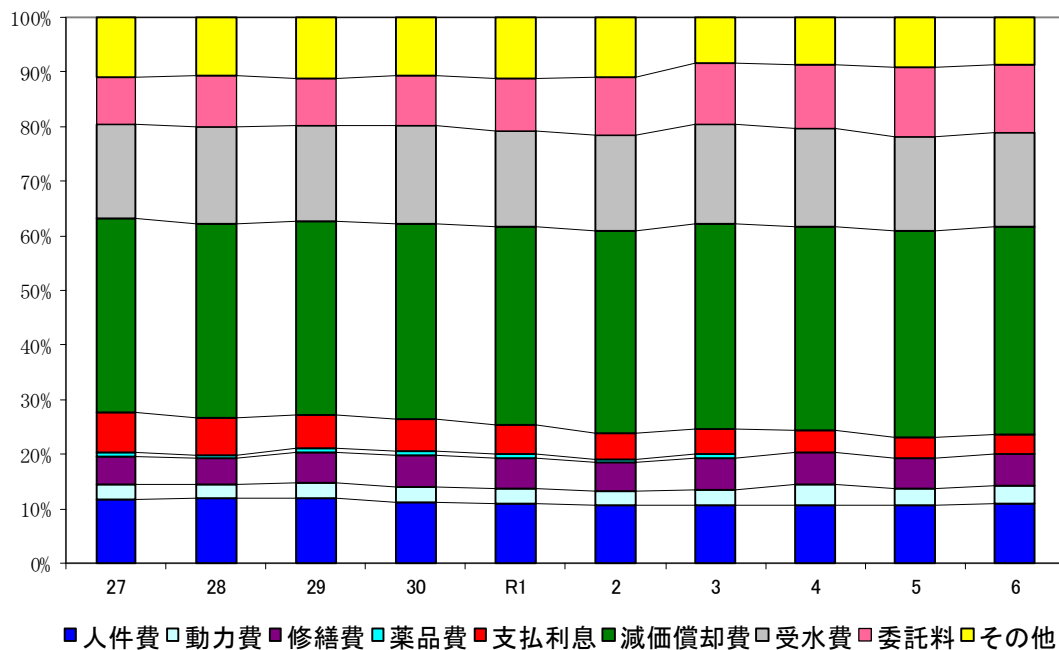
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:百万円)

年度	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
人件費	10,162 (11.7%)	10,349 (11.9%)	10,581 (12.0%)	9,817 (11.2%)	9,853 (11.0%)	9,900 (10.7%)	9,637 (10.7%)	9,795 (10.7%)	9,853 (10.6%)	10,222 (10.9%)
動力費	2,373 (2.7%)	2,226 (2.6%)	2,451 (2.8%)	2,493 (2.8%)	2,524 (2.8%)	2,304 (2.5%)	2,363 (2.6%)	3,405 (3.7%)	2,809 (3.0%)	3,027 (3.2%)
修繕費	4,460 (5.2%)	4,223 (4.8%)	4,968 (5.6%)	5,088 (5.8%)	5,015 (5.6%)	4,829 (5.2%)	5,334 (5.9%)	5,162 (5.6%)	5,138 (5.5%)	5,504 (5.8%)
薬品費	507 (0.6%)	477 (0.5%)	542 (0.6%)	589 (0.7%)	721 (0.8%)	642 (0.7%)	699 (0.8%)	920 (1.0%)	999 (1.1%)	1,062 (1.1%)
支払利息	6,423 (7.4%)	5,950 (6.8%)	5,481 (6.2%)	5,040 (5.8%)	4,677 (5.2%)	4,398 (4.8%)	4,002 (4.5%)	3,656 (4.0%)	3,464 (3.7%)	3,304 (3.5%)
減価償却費	30,728 (35.5%)	31,075 (35.6%)	31,360 (35.5%)	31,503 (36.0%)	32,598 (36.3%)	34,009 (36.9%)	33,799 (37.7%)	33,853 (37.0%)	34,876 (37.4%)	35,342 (37.6%)
受水費	14,880 (17.2%)	15,457 (17.7%)	15,477 (17.5%)	15,640 (17.9%)	15,686 (17.5%)	16,235 (17.6%)	16,316 (18.2%)	16,348 (17.9%)	16,008 (17.2%)	15,976 (17.0%)
委託料	7,462 (8.6%)	8,196 (9.4%)	7,577 (8.6%)	8,049 (9.2%)	8,546 (9.5%)	9,718 (10.5%)	10,070 (11.2%)	10,595 (11.6%)	11,645 (12.5%)	11,593 (12.3%)
その他	9,557 (11.0%)	9,245 (10.6%)	9,974 (11.3%)	9,289 (10.6%)	10,078 (11.2%)	10,135 (11.0%)	7,540 (8.4%)	7,803 (8.5%)	8,350 (9.0%)	8,057 (8.6%)
計	86,552 (100.0%)	87,199 (100.0%)	88,410 (100.0%)	87,508 (100.0%)	89,698 (100.0%)	92,170 (100.0%)	89,761 (100.0%)	91,537 (100.0%)	93,142 (100.0%)	94,087 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

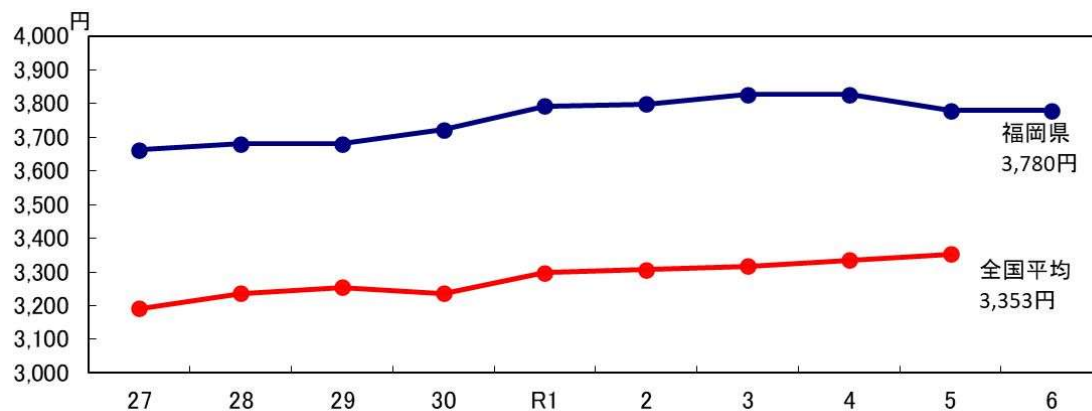
令和7年3月末現在における家庭用1ヶ月20^mの水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,780円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20^m当たりの水道料金（上水道）

（令和7年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	2
2,500円以上～3,000円未満	4
3,000円以上～3,500円未満	6
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	13
4,500円以上	4

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20^m当たり）



（単位：円）

年度	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
福岡県	3,663	3,681	3,681	3,722	3,792	3,799	3,827	3,827	3,780	3,780
全国平均	3,192	3,236	3,254	3,236	3,298	3,306	3,317	3,335	3,353	未公表

※ 基礎料金・メーター使用料を含む

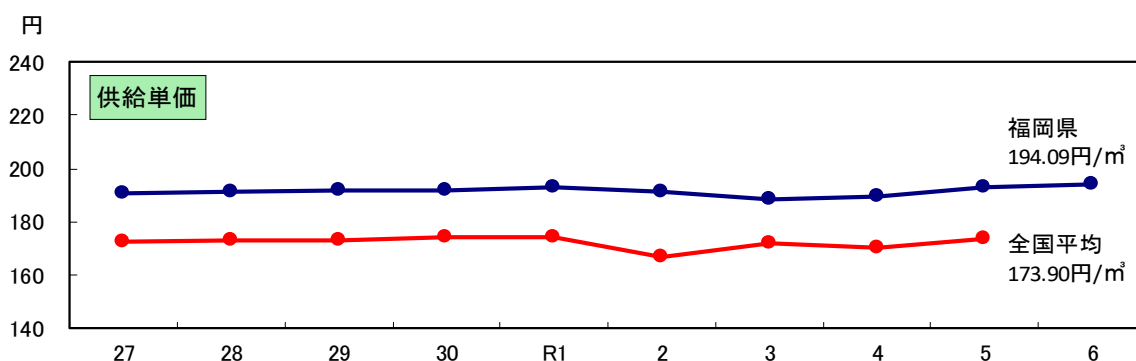
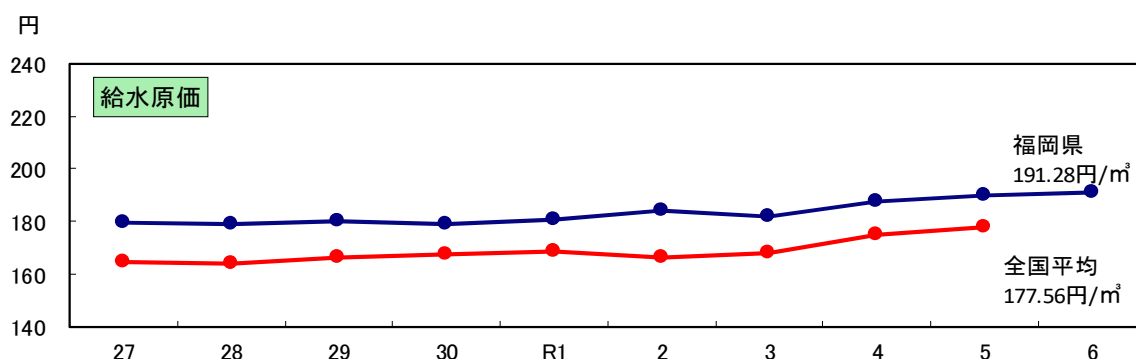
※ 本資料作成時点で、全国の令和6年度値は未公表

6 給水原価と供給単価（上水道）

令和6年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 191.28 円/m³ 及び 194.09 円/m³ となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
給水原価	福岡県	179.74	179.17	180.20	179.06	180.90	183.91	182.02	187.62	189.85	191.28
	全国平均	164.40	163.85	166.41	167.70	168.58	166.47	167.79	174.80	177.56	未公表
供給単価	福岡県	190.64	191.25	191.83	191.94	193.08	191.41	188.43	189.41	192.70	194.09
	全国平均	172.47	172.80	173.33	173.99	174.01	166.64	171.85	170.48	173.90	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の令和6年度の値は未公表